

スマートコーシン

共通バッテリーシリーズ

充電式チェーンソー

SCS-3625 **36V Li-ion**

取扱説明書（保証書付）

用途

- ・丸太（薪）切り
- ・木製角材の切断

用途以外の目的に
使用しないでください

目次

はじめに	
各部の名称	2
パーツのご注文は	3
安全上のご注意	4
準備	
ご使用になる前に	12
運搬する場合には	21
定期点検を行いましょ	22
使用方法	
切断をする	23
使用後は	28
保守・点検	
保守・点検について	29
「故障かな？」と思ったら（故障と処置）	34
その他	
仕様	36
保証書	裏表紙

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございました。

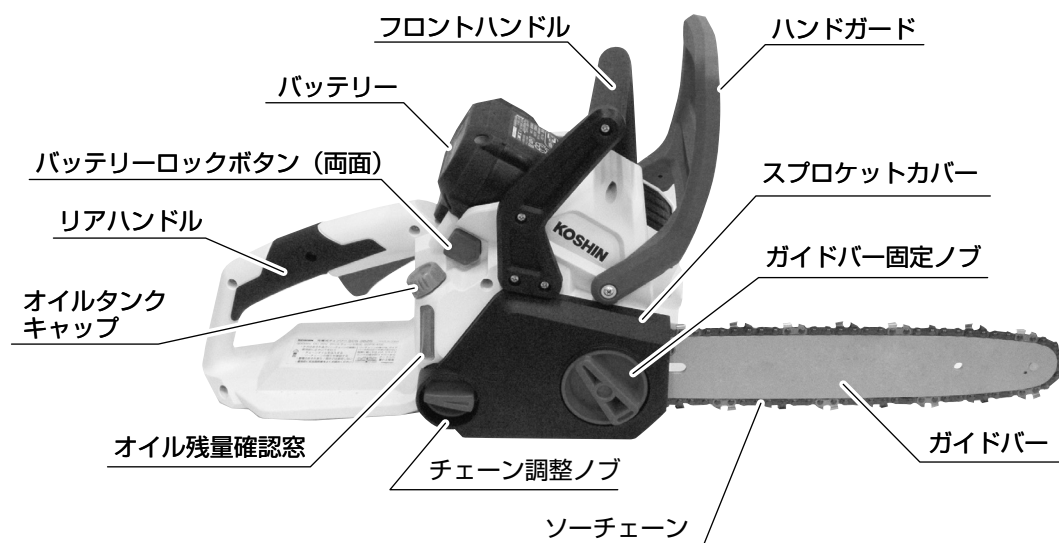
- ・ご使用前に、この取扱説明書をよく読んで正しく安全にご使用ください。
- ・お読みになった後も保管してください。
- ・取扱説明書を理解していない人は、本機の操作を行わないでください。
- ・本機を他人に貸す場合は、取扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。

なお、保証書に購入店などの記載がない場合は、レシートなどを貼り付けておいてください。

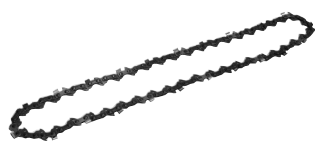
仕様変更などにより、本機のイラストや内容が一部実機と異なる場合がありますがご了承ください。

各部の名称

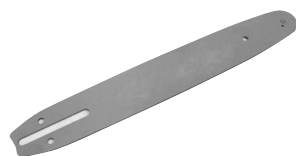
同梱されている付属品がすべてそろっているか確認してください。
特に数量の記載の無いものは各1点です。



付属品



ソーチェーン



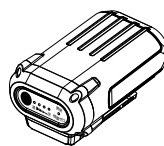
ガイドバー



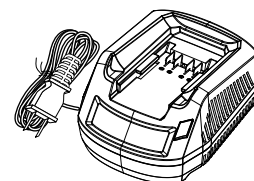
チェーンケース



チェーンソーオイル
110mL



36V バッテリー (2.5Ah)
(PA-334)



36V 急速充電器
(PA-335)

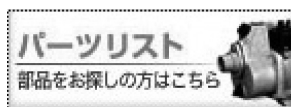
パーツのご注文は

パーツは必ず指定のものをご使用ください。

パーツは購入店または弊社製品お取扱店を通じてご注文いただけます。また、下記に記載の無いものも併せて、弊社公式 Web サイトにてパーツ表、価格をご覧ください。

ご注文時のお願い 部品番号（7～9桁）または機種名・JAN、名称、必要な個数を正しくお伝えください。

- パーツ表・価格**
- 1) <http://www.koshin-ltd.co.jp>
 - 2) トップページ「パーツリスト」バナーをクリック



アフターパーツ

名称	部品番号	機種名・JAN	備考
36V バッテリー (2.5Ah)	—	機種名：PA-334 JAN：4971770-560178	専用充電器：PA-335
36V 急速充電器	—	機種名：PA-335 JAN：4971770-560185	—
SCS-3625 ガイドバー (124MLEA041 JP)	0560513	—	製品に標準付属のものと少々見た目が異なりますが、問題なくご使用頂けます。
SCS-3625 ソーチェーン (90PX-45E JP)	—	機種名：PA-418 JAN：4971770-560642	—

オプションパーツ（別売拡張部品）

名称	部品番号	機種名・JAN	備考
36V バッテリー (5.0Ah)	—	機種名：PA-413 JAN：4971770-560598	専用充電器：PA-335

はじめに

準備

使用方法




保守・点検

その他

安全上のご注意

使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。


- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。








 危険	人が死亡、または重傷などを負う可能性が高いと考えられる内容です。
 警告	人が死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
 注意	人が損傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。

- お守りいただく内容を区分して説明しています。

 してはいけない「禁止」の内容です。	 必ず守っていただく「実行」の内容です。
---	---


- その他の表示：取り扱いのポイント …正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。


 **危険**


チェーンソーに関する注意事項	チェーンソーに関する注意事項（つづき）
<p> 使用する前に必ず周囲に人や動物がいないことを確認する 特に高所作業のときは、下に他の人や動物がいないことを確認する 確認しないで使用すると、事故の原因になります。</p>	<p> 2人以上で作業を行うときはお互いに半径 15m 以上の間隔を取る また、監督者をおく 使用中、半径 15m 以内に他の人や動物などが近づいた場合は、直ちに本機を停止し作業を中止して、注意をうながす 不用意に他の人や動物などを近づけると事故の原因になります。</p>
<p> 高所（高さが 2m を超える箇所での作業）でチェーンソー作業を行う時は、高所作業用の機器を活用して、安定した足場を確保すると同時に、安全帯（芯入り）を必ず着用し身体をしっかり固定する</p>	<p> 本機を使用している人に近づくときは、使用者から半径 15m 以上離れた位置で合図し、本機の停止と回転の停止を確認してから近づく 不用意に近づくとう使用者が気がつかず事故の原因になります。</p>
<p> 片手持ち作業、腕を伸ばしてのチェーンソー操作は行わない また、作業範囲は作業者の肩から腰までの高さとし、それ以外では作業を実施しない</p>	<p>充電式工具として共通の注意事項</p>
<p> 使用中は危険防止のため、半径 15m 以内に他の人や動物を近づけない 事故の原因になります。</p>	<p> 部品類は必ず取扱説明書に従って確実に取り付ける</p>


警告


チェーンソーに関する注意事項


 ガイドバー先端部での切断はしない
ガイドバー先端部を枝や地面などに触れさせない
(24 ページ「キックバック（跳ね返り）について」参照)


 はしご・脚立の使用、または木に登るなど不安定な姿勢で使用しない
ケガの原因となります。


 作業場所付近に、電線などがいないか作業前に十分確認する
誤って電線を切断すると、感電のおそれがあります。本製品は感電防止の絶縁処理は行っていません。


 切断対象に釘などの異物がないことを確認する
刃物が釘などに当たると、ケガの原因になります。


 切り落とし寸前や切断中に材料の重みでガイドバーが材料に挟み込まれないよう注意する
ガイドバーが挟みつけられると、ケガの原因になります。

 チェーンケースを被せた状態で本機を起動しない


 作業時に適した服装で作業する
(23 ページ「服装について」参照)

 髪、衣服、手袋などは回転する部分に近づけない
回転する部分に近づけると巻き込まれてケガの原因になります。


 長い髪は束ね、帽子やヘアカバーなどで覆う
回転する部分に巻き込まれケガの原因になります。


 手ぬぐいやタオルを首、腰から下げて作業しない
回転する部分に巻き込まれケガの原因になります。


チェーンソーに関する注意事項（つづき）


 使用中および運転を停止した直後は回転する部分に手足や顔などを近づけない
運転を停止した後も回転する部分がしばらく回っているので注意してください。ケガの原因になります。


充電式工具として共通の注意事項


 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地などの不安定な場所では使用しない
転倒してケガの原因となります。

 本機の能力に合った負荷（切断対象、運転時間など）で作業する
無理な作業は事故の原因になります。また、作業能率が悪くなります。

 本機を雨の中で使ったり、雨ざらしにしたりしない
ぬれた物を切ったり、ぬれた場所で使用・保管したりしない
感電によるケガ、焼損・発火による火災、本機の故障のおそれがあります。








 点検の際は、スイッチレバーから手を離し、バッテリーを本機から取り外す
守らないと、本機が誤始動し、ケガの原因になります。

 バッテリーを取り付ける際は、スイッチレバーから手を離す
電源が入の状態ではバッテリーを取り付けると不意の始動により事故の原因になります。








 充電器の電源プラグに合っていない電源コンセントを使用しない
電源プラグを改造しない
守らないと、感電の原因になります。

警告

充電式工具として共通の注意事項（つづき）


-  電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしない
電源プラグを抜くために電源コードを引っ張らない
電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけない
電源コードが損傷したり、絡まったりして感電の原因になります。
-  可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しない
本機から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
-  修理技術者以外の方は、取説記載内容以外の分解や修理 / 改造は絶対に行わない
異常動作してケガをするおそれがあります。
-  本機、付属品、工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて使用する
指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
-  取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業する
注意不足が重大な事故の原因になります。
-  作業場は明るくする
作業場が暗いと、事故の原因になります。
-  作業場は整理整頓する
作業場が散らかっていると事故の原因となります。

充電式工具として共通の注意事項（つづき）


-  定期点検を行う
点検が不十分だと、事故の原因になります。
(22 ページ「定期点検を行いましょう」参照)
-  次のときは本機を使用しない
事故の原因になります。
 - ・疲れているとき、身体が不調のとき。
 - ・酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。
 - ・夜間の使用や悪天候などで視界が悪いとき。
 - ・妊婦による作業。
-  本機、充電器、バッテリーに幼児・子供が触れないよう、隔離措置をして安全な場所で運転する
-  子供には本機を貸さない
本機の取り扱いの知識が不十分な場合、事故の原因になります。
-  スイッチ部分に指をかけて運ばない
不意に始動してケガの原因になります。
-  本機の電源を入れる前に、工具などは、必ず取り外す
電源を入れたときに、取り付けた工具などが回転してケガの原因になります。
-  使用しない本機は、安全に保管する
(28 ページ「保管」参照)

注意


充電式工具として共通の注意事項

 誤って、ぶつけたりしたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことを点検する

破損や亀裂、変形があると、ケガの原因になります。


 定期的に休息をとる

本機は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は体に負担をかけることがあります。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じる場合があります。


 使用前にネジのゆるみや欠落した部品などがないか確認する

不完全な本機を使用するとケガの原因になります。

充電式工具として共通の注意事項（つづき）

 万一の事故に備えて、必ず救急箱を作業場近くに備え付ける

救急箱から持ち出した場合には、直ちに交換品を補充してください。

 充電器およびバッテリーの端子に手を触れない

感電のおそれがあります。また、充電器およびバッテリーが静電気により破損する可能性があります。

安全上のご注意

取り扱いのポイント

- ・ 極端な高温や低温の環境下では使用しないでください。十分な性能を得ることができません。

警告ラベルのメンテナンス

- ・ 本機には、警告ラベルが貼付されています。
- ・ 警告ラベルが見えにくくなった場合や、はがれた場合にはお買い上げの販売店に注文し、貼りかえてください。

整備について

本機は、専門家による純正部品だけを用了修理により安全性を維持することができます。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を發揮しないだけでなく、事故やケガのおそれがあります。

- ・ 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火や異常動作により、ケガをするおそれがあります。
- ・ 本機の発熱や異常に気づいたときは点検・修理に出してください。修理は、購入店、またはお近くの弊社製品お取扱店にご相談ください。

その他の注意事項

- 1) 損傷した部品がないか点検してください。不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを取り外し、購入店またはお近くの弊社製品お取扱店へ点検、修理をご依頼ください。
- ・ 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を發揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、購入店、または弊社製品お取扱店に修理をご依頼ください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると発煙・発火、感電、ケガの原因になります。

〈異常・故障例〉

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズなどの破損や変形がある。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。
- ・ ビリビリと電気を感じる。
- ・ 電源を入れても動かない。

- 2) 正しい付属品やオプション品を使用してください。この取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアフター／オプションパーツ以外のものを使用すると、事故やケガの原因になります。

■ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

バッテリー・充電器について

⚠危険

■ ご使用上の注意

- ・ 水・海水などで濡らさないでください。異常な電流、電圧でバッテリーが充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・ ストーブなどの熱源のそばに放置しないでください。発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・ バッテリーは、本機および指定の充電器専用です。指定機器以外の用途に使用すると、異常な電流が流れ、バッテリーが破損する可能性があります。発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・ バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。バッテリーが発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・ バッテリーをご使用の際は、つぎのことを必ず守ってください。
 - ・ バッテリーを火の中に投入したり、加熱したりしないこと。発熱、破裂、発火の原因になります。
 - ・ 強い衝撃を与えたり、改造したりしないこと。発熱および発火のおそれがあります。

安全上のご注意

⚠ 危険

■ 充電時の注意

- ・弊社指定の充電器・バッテリーを使用し、弊社指定の充電条件を守ってください。その他の充電条件（指定以外の温度、指定以外の高い電圧／大きな電流、または改造した充電器など）で充電しますと、発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・バッテリーはプラスとマイナスの向きが決められています。充電器や機器に接続する時にうまくつながらない場合は無理に接続しないでください。プラスとマイナスを逆に接続すると、バッテリーが逆に充電され内部で異常な反応が起こり、バッテリーを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- ・火のそばや、炎天下駐車の中などでの充電はしないでください。高温になると充電出来なくなったり、異常な電流や電圧で充電されたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。

⚠ 警告

■ ご使用上の注意

- ・電子レンジや高圧容器に入れしないでください。急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・バッテリーの使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気がついた時は、本機あるいは充電器より取り出し、使用しないでください。バッテリーが発熱、破裂、発火する原因になります。
- ・バッテリーが漏液したり異臭がしたりする時には直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。
- ・バッテリーが漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により、目に障害を与える原因になります。
- ・バッテリーを運ぶときは収納するケースの中のバッテリーが動かないようにしっかりと梱包してください。破損や金属端子のショートの原因になるおそれがあります。

⚠ 警告

- ・本機や電源コードの接続部、充電端子部に金属類をさし込まないでください。発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
 - ・コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしないでください。発火の原因となります。
 - ・ぬれた手で充電器の電源プラグの抜き差しをしないでください。また電源プラグは根元まで確実にさし込んでください。感電や発火の原因となります。
- #### ■ 取扱いについて

- ・充電器の電源プラグのほこり等は定期的に取り除いてください。ほこり等がたまるとショートして発火の原因となります。
- ・充電器の電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、コードの上に物を載せないでください。電源コードが破損やショートするなどで、発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因となります。
- ・本機、バッテリー、充電器は、乳幼児・子供の手の届かないところに置いてください。不用意な取扱いをすると危険が伴います。

■ 充電時の注意

- ・充電時、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を停止してください。バッテリーが発熱、破裂、発火する原因になるおそれがあります。
- ・この充電器はリチウムイオンバッテリー専用です。バッテリーを充電する以外の用途には使用しないでください。充電器が発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・必ず指定された電源を使用してください。他の電源で使用すると、充電器に過大電圧が加わったり過大電流が流れたり、バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火や、本体が発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因となります。

安全上のご注意

⚠️ 注意

■ 充電時の注意

- ・使用環境温度範囲以外での充電はバッテリーを発熱、破損させる原因やバッテリーの性能や寿命の劣化につながるおそれがあります。バッテリーの使用環境温度範囲は 36 ページ「仕様」をご覧ください。
- ・バッテリーの充電中に、可燃物を上に載せたり、覆ったりしないこと。バッテリーを発熱、破裂、発火させるおそれがあります。

■ 取扱いについて

- ・バッテリーが漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になるおそれがあります。
- ・直射日光の当たる場所、炎天下駐車の内車など、高い温度になる場所に放置しないでください。バッテリーを漏液させる原因になるおそれがあります。
- ・バッテリー端子に手や金属製工具などで触れないでください。静電気によりバッテリーが破損するおそれがあります。
- ・充電器の電源プラグを抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードを持って電源プラグを抜くと、コードがショートし発火や感電の原因になるおそれがあります。
- ・湿気やほこりの多い場所では使用または保管しないでください。発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による漏電、発火、感電の原因になるおそれがあります。
- ・電源プラグや充電端子部に、金属製のピンやごみを付着させないでください。ショートによって発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・充電器が異常と思われたときには、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。

⚠️ 注意

- ・充電器の上に物を載せたり、落下しやすいところに置いたりしないでください。充電器が外部の力や衝撃で内部回路が破損し、使用時に発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。

取り扱いのポイント

- ・使用環境温度範囲以外での使用はしないでください。この使用環境温度範囲以外ではバッテリーの性能や寿命の劣化につながるおそれがあります。バッテリーの使用環境温度範囲は 36 ページ「仕様」をご覧ください。
- ・取扱説明書に記載している充電時間以上の長時間の充電をしないでください。
- ・バッテリーを長期間使用しない場合は、機器から外して湿気の少ないところに保管してください。機器に接続したままや湿気の多いところに保管しないでください。
- ・使用後は必ず本機のスイッチを切ってください。また、充電完了後は、充電器からコンセントを抜いてください。
- ・長期間で使用にならなかったバッテリーは十分に充電されないことがあります。バッテリーは長期間使用しない場合でも、1年に1度は満充電にしてください。
- ・バッテリー端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてからご使用ください。機器との接触が悪いと、電源が切れたり充電されなくなったりすることがあります。
- ・バッテリーからの異臭や液漏れがないかを定期的に確認してください。

■ バッテリーの寿命について

- ・バッテリーには寿命があります。機器の使用時間が短くなった時は、新しいバッテリーとお取り替えください。

安全上のご注意

取り扱いのポイント

■ 延長コードについて

延長コードを使用する時は、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

〈使用できる延長コードの太さ(導体公称断面積)と長さの目安〉

コードの太さ (導体公称断面積)	コードの長さの目安
2.0mm ²	30m まで

ご使用になる前に

充電について

- ・お買い上げ時や長期間充電しなかった場合は、ご使用前に満充電になるまで正しく充電してください。

取り扱いのポイント

- ・バッテリーの温度が適切でないと充電ができないことがあります。バッテリーが高温の場合は、風通しの良い日陰などに置いて一旦冷ましてください。
- ・充電中にバッテリーや充電器が温かくなりますが、異常ではありません。

バッテリーの取り付け方 / 取り外し方

⚠ 警告

- ❗ **バッテリーは本機に確実にしっかり取り付ける**

取り付けが不十分な場合、外れて事故の原因になります。

- ・バッテリーを本機に取り付けるときは、本機の溝に合わせて奥までさし込んでください。このとき、「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。
チェンソーの振動でバッテリーが外れないよう、少し強めに押し込む必要があります。
- ・取り外すときは、本機の左右両面に付いているボタンを同時に押しとバネの力で取り外せます。バッテリーが落ちないように手を添えるなどしてください。



ご使用になる前に

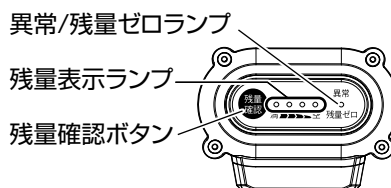
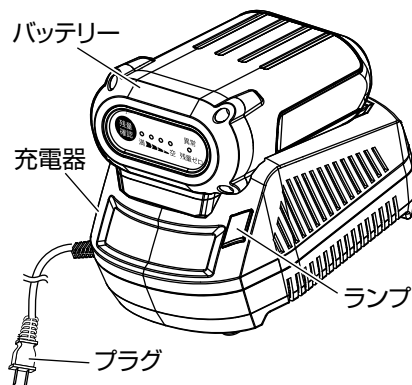
充電のしかた

1) 充電器のプラグをコンセントにさし込む。

2) バッテリーを充電器にさし込む。

下の表のように充電器およびバッテリーのランプが光り、状態をお知らせします。ランプが切り替わるタイミングは実際の状態と数秒ズレる場合があります。

3) 充電が完了する。



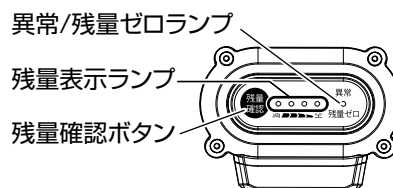
〈バッテリーを充電器にさし込んだときのランプの見かた〉

充電器	バッテリー		状態	処置 / 備考
ランプ	残表示ランプ	異常 / 残量ゼロランプ		
■ 点灯 点滅 ■ 消灯	● 点灯 点滅 ● 消灯	点滅 ● 消灯	満充電	バッテリーが高温だと満充電であっても本機が動かない場合があります
■ 緑点灯	● ● ● ● ● 消灯 満 空	● 消灯	バッテリーがさし込まれていない	バッテリーをしっかりさし込む
赤点灯	● ● ● ● ● } ● ● ● ● ● 満 空 緑点滅、緑点灯、消灯の組み合わせ	● 消灯	充電中	充電を続ける
赤点滅	● ● ● ● ● 消灯 満 空	赤点滅	バッテリーの温度異常 (考えられる原因: 使用直後や、暑い自動車に保管したとき)	高温の場合はバッテリーが冷めるよう風通しの良い日陰などに置く
■ 消灯	● ● ● ● ● 消灯 満 空	● 消灯	バッテリー、充電器の破損 (考えられる原因: 落下、水濡れ、端子に金属などが接触など)	購入店へ点検をご相談ください

ご使用になる前に

〈バッテリーの残量確認ボタンを押したときのランプの見かた〉

バッテリーの残量確認ボタンを押すと、バッテリー残量に応じてランプが約5秒光って状態をお知らせし、自動で終了します。



バッテリー		状態	処置
残表示ランプ ●点灯 ●消灯	異常 / 残量ゼロランプ ⦿点滅 ●消灯		
 満 空 緑点灯、消灯の組み合わせ	● 消灯	バッテリー使用可能	バッテリーが高温だと満充電であっても本機が動かない場合があります。バッテリーの残量が少ない場合、早めの充電をおすすめします
 満 空 消灯	⦿ 赤点滅	バッテリー使用不可 (残量が少ない)	充電する
		バッテリーの温度異常 (考えられる原因: 使用直後や、暑い自動車に保管したとき)	高温の場合はバッテリーが冷めるよう風通しの良い日陰などに置く
 満 空 消灯	● 消灯	バッテリー、充電器の破損 (考えられる原因: 落下、水濡れ、端子に金属などが接触など)	購入店へ点検をご相談ください

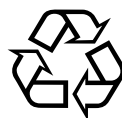
ご使用になる前に

バッテリーを長持ちさせるには

- ・本機のが弱くなってきたと感じたら使用を中止し、充電してください。
- ・満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・充電は使用環境温度 5 ~ 40℃の範囲で行ってください。
- ・長期間ご使用にならない場合、バッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。弊社窓口（裏表紙参照）までお問い合わせ頂くか、購入店またはお近くの弊社製品お取扱店へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

Li-ion

⚠注意



本機および充電器を廃棄するとき、バッテリーを取り付けたまま一般家庭ゴミとして廃棄しない

バッテリーの寿命について



- ・バッテリーは充放電を繰り返すと次第に容量が少なくなり、バッテリーの交換が必要になります。これはバッテリーの特性によるものであり、故障ではありません。満充電後も作業できる時間が短くなるようであれば、バッテリーを交換してください。
- ・リチウムイオンバッテリーは、メモリー効果（継ぎ足し充電を繰り返すと、バッテリー残量が見かけ上、低下する現象）がないため、タイミングを気にすることなく、いつでも継ぎ足し充電ができます。
- ・寒い環境ではバッテリーの容量が少なくなり、作業時間が短くなることがあります。暖くなる（バッテリーが適温になる）と回復します。
- ・バッテリーは使用しなくても自然に放電します。自然に放電した分は、使用前に充電すれば回復します。

ご使用になる前に

ソーチェーン / ガイドバーについて

⚠ 警告

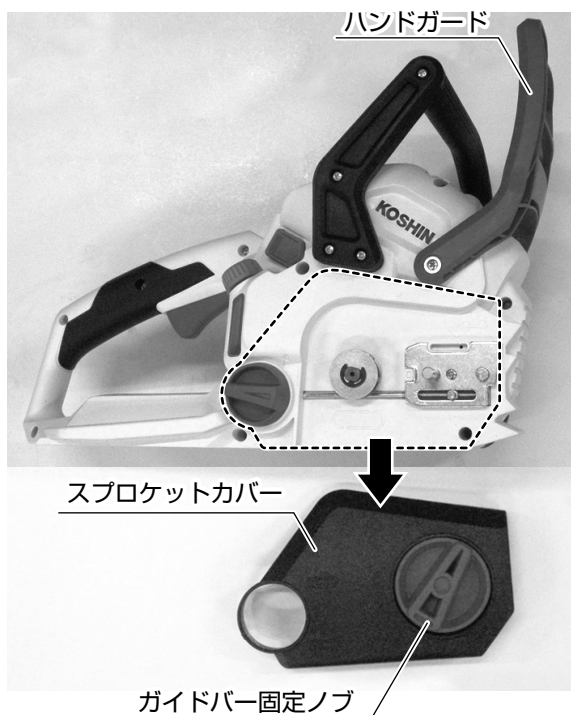
- ❗ ソーチェーンを取り扱うときは、必ずスイッチを切り、本体からバッテリーパックを外す
- ❗ ソーチェーンの取り付け・取り外しの際は、必ず保護手袋を着用する
- ❗ ソーチェーンは回転方向と取付方向を必ず確認し、正しく取り付ける

⚠ 注意

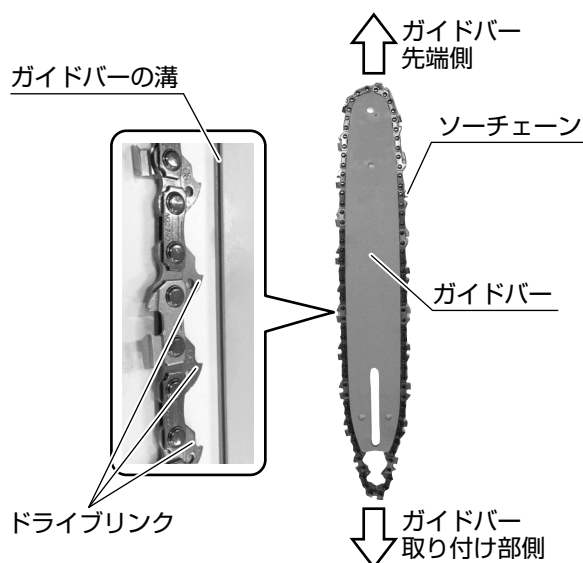
- ❗ ソーチェーンの取り付け・取り外しの際は、切りくずなどのない綺麗な場所で行う
- ❗ ソーチェーンにはあらかじめオイルが塗布されているため、取り扱う際は汚れても良い場所もしくは汚れても良い敷物を敷く

ソーチェーン / ガイドバーの取り付け方

- 1) ハンドガードが後ろ（キックバックブレーキ解除）（19 ページ参照）になっていることを確認する。
- 2) ガイドバー固定ノブを左に回し、スプロケットカバーを取り外す。

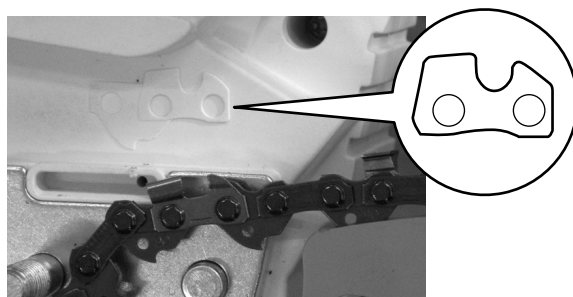


- 3) ガイドバー先端からソーチェーンのドライブリンクをガイドバーの溝に入れ、ガイドバー取り付け部側のソーチェーンを余った状態にする。

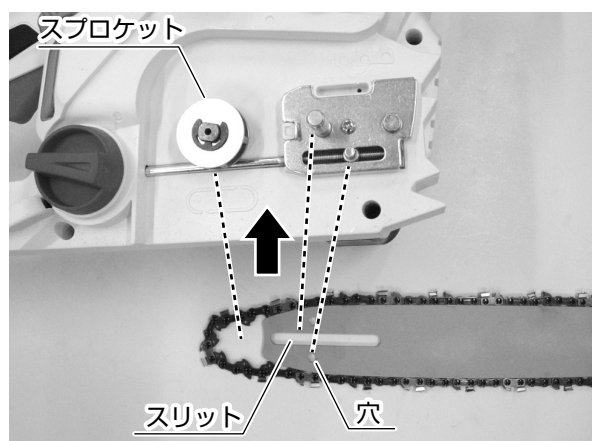


取り扱いのポイント

- ・ソーチェーンのカッター部の向きと、本体に刻印されているチェーン方向の向きが同じことを必ず確認してください。

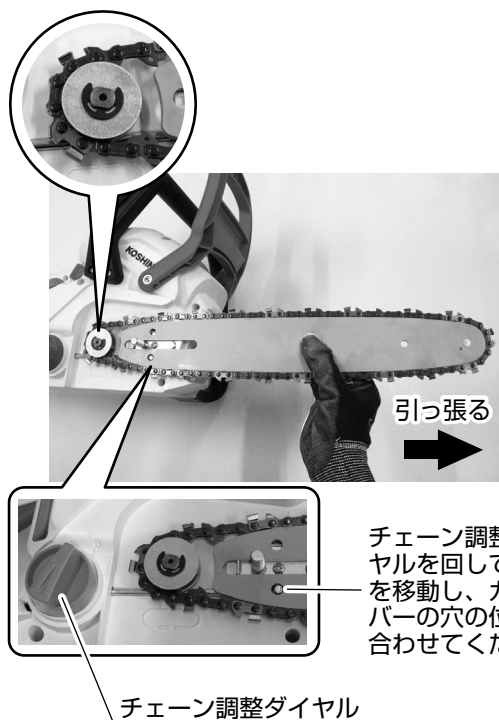


- 4) スプロケットにガイドバー取り付け部側のソーチェーンをかけ、ガイドバー取り付け部のスリットと穴に本体凸を合わせる。



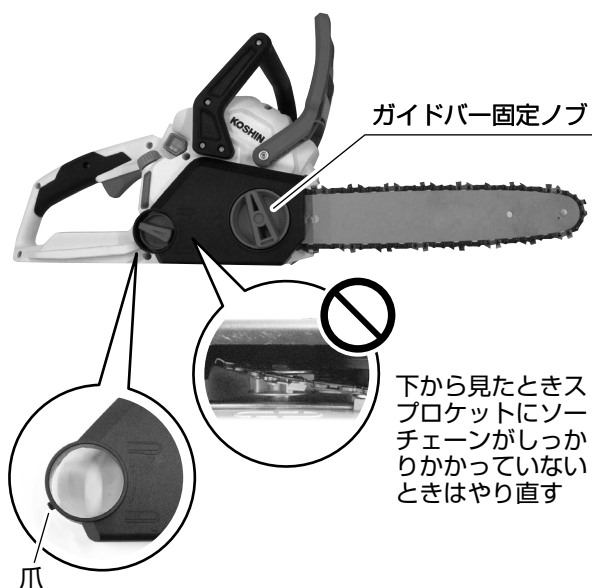
ご使用になる前に

- 5) ガイドバーを先端方向に引っ張り、ソーチェーンを「ピン」と張る。



- 6) スプロケットカバーを取り付け、ガイドバー固定ノブを右に回ししっかりと固定する。

スプロケットカバーの爪を本体の位置決め溝に必ずかけてください。



- 7) 次項の「ソーチェーンの張りの調整」を必ず行う。

ソーチェーンの張りの調整

前ページ「ソーチェーン / ガイドバーについて」の警告および注意をすべてお読みください。

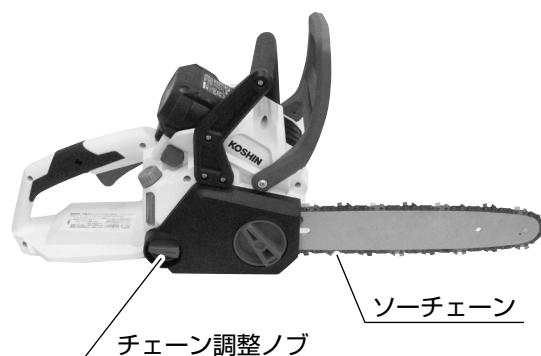
ソーチェーンの張りが常に適切になるよう、随時張りを確認し調整を行ってください。

⚠注意

- ❗ 新しいソーチェーンは伸びやすいため、使用中は小まめに調整する

- 1) ソーチェーンが冷えていることを確認する。
- 2) チェーン調整ノブを左に回し、ソーチェーンを緩める。

ソーチェーンがガイドバーから外れないよう注意してください。



- 3) チェーン調整ノブを左右に回し、調整する。

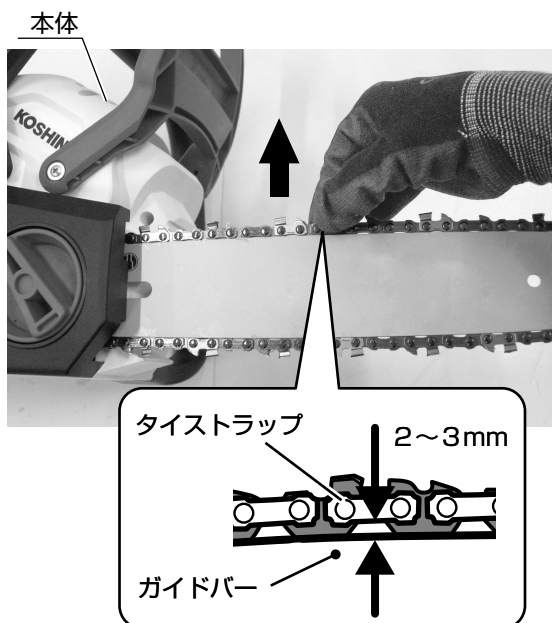
- ・ 右回り：張りが強くなる
- ・ 左回り：張りが弱くなる

- 4) ガイドバー固定ノブを右に回し、しっかりと締める。

ご使用になる前に

5) ガイドバー中央付近でソーチェーンを軽く引き上げ、ガイドバーからタイストラップの底が2～3mm程度離れること（適切な張り）を確認する。

- ・ 本体が浮かないよう注意してください。
- ・ ガイドバー固定ノブを締め付けると、ソーチェーンの張りが少し強くなる場合があります。



ソーチェーンの張り具合が下記の場合は、ケガをしたり本機が故障する原因になります。

- ・ 張りが強いとき：ソーチェーンの破断、モーターの焼き付き
- ・ 張りが弱いとき：使用中にソーチェーンが外れる

ソーチェーン / ガイドバーの取り外し方

取り付けの逆の手順でソーチェーン / ガイドバーを取り外してください。

ご使用になる前に

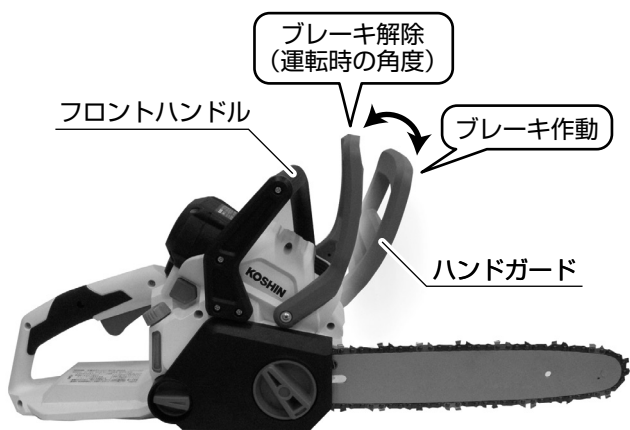
キックバックブレーキについて

キックバックブレーキ（以下ブレーキ）とは、万が一キックバック（跳ね返り）（24 ページ参照）などが発生した際、緊急にソーチェーンの動きを止め危険を少なくするための装置です。また運搬時など安全のために任意で使用することも可能です。

⚠ 警告

❗ キックバック（跳ね返り）が発生しないよう、使用者自身が常に注意して作業を行う

キックバックブレーキはあくまで危険を少なくするためのものです。全てのキックバックによるケガから使用者を守ることはできません。



ブレーキの作動

ハンドガードを前に倒すと「バチン！」と音がし、ブレーキが作動します。

〈キックバックが起こったとき〉

フロントハンドルを持っている手にハンドガードを当てることで、ハンドガードが前に倒れブレーキが作動します。

ブレーキの解除

ハンドガードを「バチン！」と音がするまで後ろへ戻してください。

作動確認

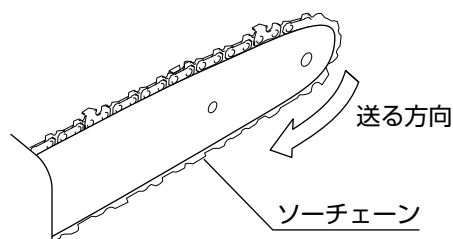
- 1) バッテリーを抜く。
- 2) 保護手袋を着用する。

3) ハンドガードを「バチン！」と音がするまで前へ倒す（ブレーキの作動）。

4) 刃でケガをしないよう、ソーチェーンを手で慎重に送る。

ソーチェーンが少し送られたあと動かなくなれば、ブレーキは正常に作動しています。

ソーチェーンの張りが強すぎると手で送れないため、ソーチェーンがガタつかない程度に張りを弱くするなど、適宜調整を行ってください。



スイッチの操作方法

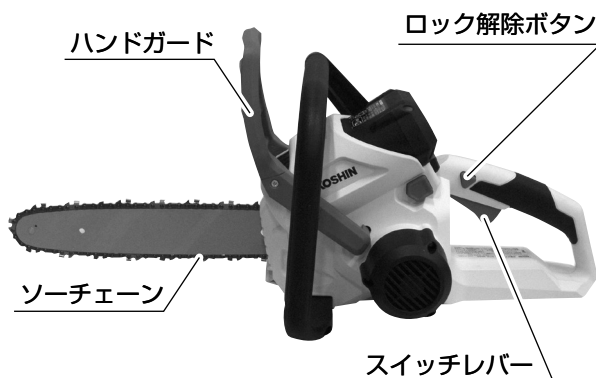
⚠ 警告

❗ 刃の部分から手や足が離れていることを確認してからスイッチを入れる
ケガの原因になります。

- 1) ハンドガードが後ろ（キックバックブレーキ解除）になっていることを確認する。
- 2) ロック解除ボタンを押した状態でスイッチレバーを握り、ソーチェーンを回転させる。
- 3) スイッチレバーを離し、ソーチェーンの回転を止める。

スイッチレバーを離しても回転する部分がしばらく回っているので注意してください。

スイッチレバーを離すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチレバーが入らない状態になります。



はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

ご使用になる前に

チェーンソーオイルについて

⚠ 警告

- ❌ ごみなどの異物の混入したチェーンソーオイルは使用しない
使用前には必ずチェーンソーオイルを注入してください。

⚠ 注意

- ❗ 使用中はオイルが飛び散るため、汚れても良い場所で作業するか、汚れても良い敷物を敷く
- ❗ 新しいソーチェーンを使用するときは、オイルにしばらく浸けるか、組み込んだガイドバーとソーチェーンに直接オイルを注油してから使用する
オイルが回っていないと焼きつく場合があります。
- ❌ 汚れたオイルは使用しない
オイルポンプの故障に繋がります。
- ❌ チェーンソーオイルの残量が少ない状態で使用しない
オイルの残量は、オイル残量確認窓で確認することができます。

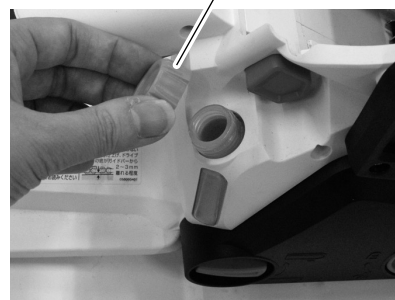
取り扱いのポイント

- ・新品時や空のタンクに給油した場合にはオイルが出てくるまでしばらく時間がかかることがあります。

給油方法

- 1) オイルタンクキャップを外し、オイルタンクにチェーンソーオイルを給油する。

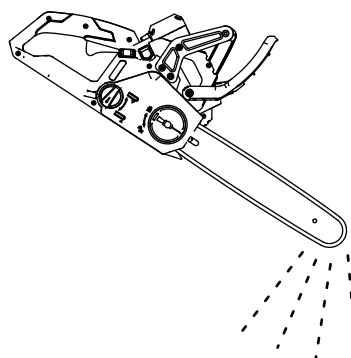
オイルタンクキャップ



- 2) オイルタンクキャップをしっかりと締める。

オイルタンクキャップは右側に回し、しっかりと閉まっていることを確認してください。

ソーチェーンを回転させ、ガイドバーの先端からチェーンソーオイルが吐出しているか確認してください。通常、1分程度でオイルが吐出を始めます。

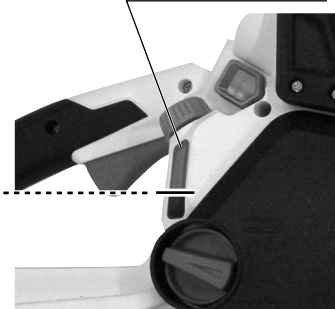


- 3) 本機使用中は時折チェーンソーオイルの残量を確認する。

本機を下図のようにして、残量が1/3程度になったら補充してください。

オイル残量確認窓

補充
残量 1/3程度



運搬する場合には

本機を車両などで運搬する場合には、以下を必ず守ってください。

- 1) スイッチレバーから手を離す。
- 2) キックバックブレーキをかける。
(19 ページ「ブレーキの作動」参照)
- 3) ソーチェーン / ガイドバーにチェーンケースをかぶせる。
- 4) バッテリーを取り外す。

バッテリーを取り付けたまま運搬すると、破損や金属端子のショートの原因となります。

取り外したバッテリーおよび本機、充電器の取り扱いには以下を守ってください。

⚠ 危険

- ❌ 強い衝撃を与えない
水にぬらさない
炎天下の車中など高温になるところ、火気のそば、直射日光の当たるところに長時間放置しない

⚠ 警告

- ❗ 運搬するときは、ガイドバーにチェーンケースを取り付けてソーチェーンがむき出しにならないようにする
- ❗ ボルト、針金、金属工具などがバッテリーおよび本機、充電器に触れないようにする
一緒に持ち運ぶなどするとバッテリーがショートし、発熱、破裂、発火のおそれがあります。
- ❗ バッテリーが漏液して液が目に入った、皮膚や衣服に付いたりしたときは、ただちにきれいな水で洗い流して医師の治療を受ける

- 5) バッテリーおよび本機、充電器が落下、転倒、破損などしないような場所を選んで積載する。

⚠ 警告

- ❌ 本機を立てて運搬しない
故障の原因となります。
- ❌ 本機を車に積んだまま長時間悪路を走行しない
本機が転倒し、思わぬ事故の原因となります。

- 6) スプロケットカバーの下にオイルを受けるものを敷き、本機をしっかりと固定する。

本機は構造上、チェーンソーオイルを抜いてもオイルタンクからオイルが漏れ出てきます。



取り扱いのポイント

- ・ オイルの漏れる量を減らす場合は、以下の項目を守ってください。
 - ・ オイルを空になるまで抜く
 - ・ 高温になるところには、できるだけ置かない

定期点検を行いましょ

本機を安全に、かつ快適にご使用いただくために定期点検を行ってください。

点検の結果、異常があった場合は本機を使用しないでください。

・点検をするときは電源を切り、バッテリーを取り外してから行ってください。

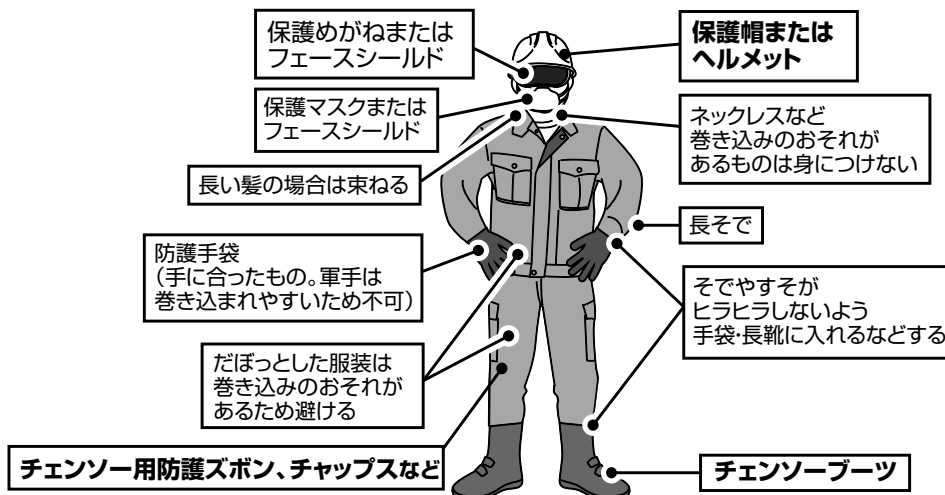
部位	項目	時期		参照ページ数
		作業前/後	作業中	
各部	ネジ、ナット類のゆるみ点検	●		—
	割れ、欠け、変形、摩耗、損傷などの点検	●		—
スイッチ類	作動確認	●		19
キックバックブレーキ	作動確認	●		19
ソーチェーン	ソーチェーンの点検	●	●	16
	正しい取り付け、張りの点検	●	●	16～18
チェーンソーオイル	チェーンソーオイルの吐出確認	●	●	20
	チェーンソーオイルの残油量	●	●	20
スプロケットカバーの清掃	切りくずの点検	●		29
オイル吐出口の清掃	ゴミつまりの清掃	●	●	29
ガイドバー	ゴミつまりの清掃（溝など）	●	●	16
	ゆるみ点検	●	●	17

切断をする

服装について

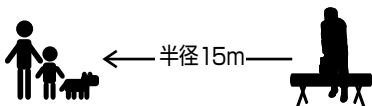
作業中は本機の回転する部分に巻き込まれたりするなどケガをするおそれがあります。下図のような安全な服装で作業を行ってください。

※保護マスクなどは付属していません。別途ご用意ください。



切断時のチェックポイント

- ① 半径15m以内に人や動物がいらないことを確認する
- ・歩道など通路の場所を確認する



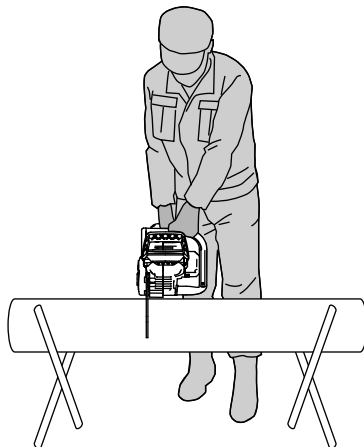
- ① 作業場所付近に、電線などがないか作業前に十分確認する
- 誤って切断すると、感電のおそれがあります。

- ① 安全な避難場所および退避ルートを確認する

- ① 邪魔になる障害物(枝・灌木など)を取り除く
- 壁など取り除くことができない場合は、位置を確認し刃が当たらないよう注意して作業する

- ① 切断対象に釘などの異物がないことを確認する

- ① 以下を総合的に判断し木が倒れる場所、作業者の立ち位置を決める
- ・切断する木の状態(曲がり具合、枝の張り具合、つる・枝がらみなど)
- ・周囲の条件(隣接する木や枝の状態、障害物の有無、地形、風向きなど)
- ・傾斜地では切断した枝が転がらないことを確認の上、常に山側に立って作業する



- ① ガラス窓や車など、傷をつけたくない物が近くにないか確認する
- 切断した枝でガラスが割れたり、傷がついたりするおそれがあります。板などで養生するか、移動させるなどしてください。

- ⊘ はしご・脚立の使用、または木に登るなど不安定な姿勢で使用しない

- ① 作業中は常に木が倒れる場所に注意する

- ① 木が倒れるときは周囲に警戒の合図を行い、スイッチレバーから手を離し安全な場所に避難する

- ① 作業中にソーチェーン・ガイドバーが木に挟まれたときは、スイッチレバーから手を離し、クサビを使用するなどして安全に本機を取り外す

- ① 曲げられている枝、掛かり木、裂けている木などを切断するときには、跳ね返りに注意する(できるだけ十分な訓練と経験を積んだ専門者に依頼すること)

切断をする

作業前 / 中の点検

- ・ 22 ページ「定期点検を行いましょう」の表のうち、「作業前」に●がついているものを、すべて行ってください。
- ・ 作業中も適宜、上記の表の「作業中」に●がついているものをすべて行ってください。

切断の手順

警告

! 使用中、本機の調子が悪いときや異常音がしたときは、ただちに電源を切り、バッテリーを取り外して使用を中止し、点検・修理を依頼する
そのまま使用すると思わぬケガ・事故の原因となります。

! 使用中に刃の部分が石などの障害物に当たったときは、すぐに本機を停止させ異常がないか調べる
そのまま使用すると事故の原因となります。

- 1) バッテリーを取り付ける。
- 2) キックバックブレーキを解除する。(19 ページ参照)
- 3) ソーチェーンを回転させる。(19 ページ参照)
- 4) 各種の切断をする。(25 ~ 27 ページ参照)
適宜以下を行ってください。
 - ・ チェーンソーオイルの吐出確認 (20 ページ参照)
 - ・ チェーンソーオイルの残量確認 (20 ページ参照)
 - ・ ソーチェーンの張りの確認 (17 ページ参照)
- 5) 使用後はスイッチレバーから手を離し、本体からバッテリーを取り外す。

連続使用について

目安として、満充電のバッテリーを1回使い切る毎に、20分程度の休憩をとってください。その際、本機・バッテリーは日陰に置き冷ましてください。熱による本機、充電器、バッテリーへのダメージを防ぎます。

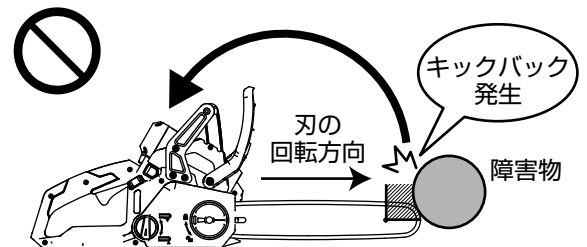
キックバック（跳ね返り）について

- ・ 19 ページ「キックバックブレーキについて」もあわせてお読みください。

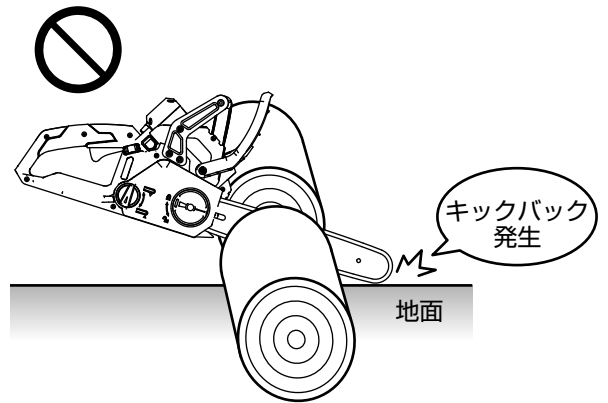
警告

⊘ ガイドバーの先端部での切断はしない
ガイドバー先端部を木や地面などに触れさせない

- ・ 使用中にガイドバーの先端が木や障害物に触れると、ソーチェーンの回転でそれらを駆け上がる力が働き、作業者に向かって跳ね返すキックバックが発生します。



- ・ 作業中は地面や壁などの障害物にガイドバーの先端部が当たりキックバックを起こすことがあります。作業中は常にそのことに注意してください。



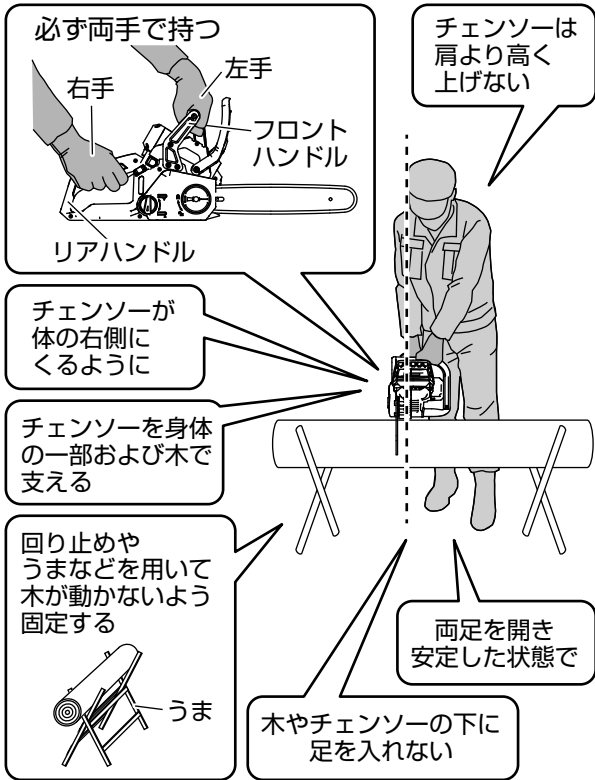
! チェンソーの正しい持ち方を守る（詳細は次ページ参照）

本機を身体の右側にすることで、万が一キックバックが発生した際に身体の芯（頭部）に刃が当たる確率が下がります。

切断をする

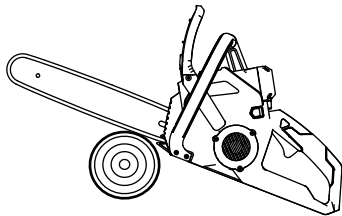
切断のしかた

■ チェンソーの正しい持ち方とポイント



■ 基本の切断

- 1) ソーチェーンが木に触れない状態でスイッチを入れる。
- 2) ソーチェーンの回転スピードが上がリ、チェンソーオイルが吐出していることを確認する。
- 3) スパイクを木に軽く押しつけながら切断する。



⚠ 注意

- ❗ スパイクに木が接していないと本機が引っ張られ、刃先がブレるので注意する

取り扱いのポイント

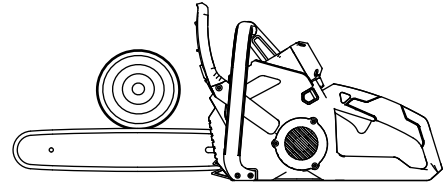
- ・ 切断中、木に強く押しつけないでください。疲れるばかりでなく、ソーチェーンやガイドバーの摩耗を早めます。

■ 太い樹木のせん定

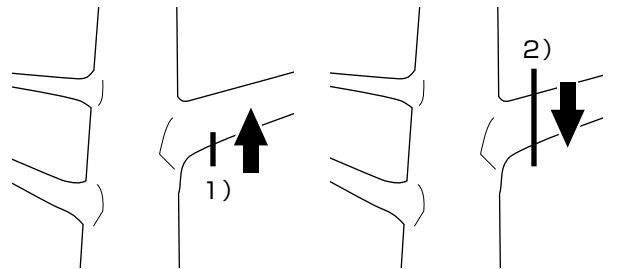
(前項「■ 基本の切断」も併せてお読みください)

1) 枝の下側に少し切り込みを入れる。

ガイドバーの上側、必ず先端部以外を枝に軽く当ててください。守らないとキックバック(24ページ参照)が起こるおそれがあります。

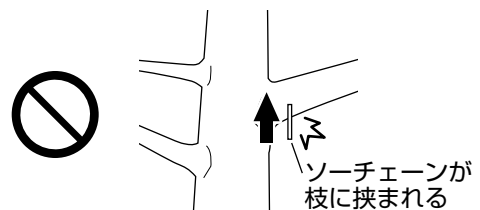


2) 枝の上側から切断する。



取り扱いのポイント

- ・ 枝を下側から切り上げないでください。枝の重みで切り口が挟まり、ソーチェーンが枝に挟まれて取れなくなります。



- ・ 下側に切り込みを入れずに枝を切断すると、裂けて仕上がり面が悪くなります。



切断をする

チェーンソーによる各種の作業方法

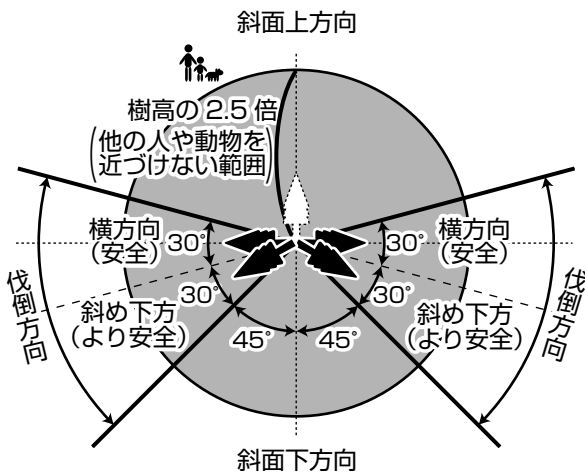
■ 伐木作業（立木を倒す作業）



樹高の 2.5 倍の範囲内に他の人や動物を近づけない



安全な伐倒方向および退避場所を確認してから作業を行う

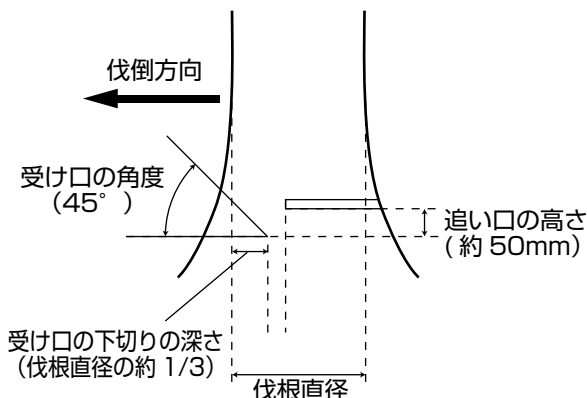


常に木の状態に注意しながら作業を行う
切断中に不意に木 / 木の皮が裂け、ケガをするおそれがあります。

- 1) 木を倒す方向に、直径の 1/3 程度の切りこみを入れ受け口を作る。
- 2) 受け口の水平部より約 50mm 上に、受け口の水平部と平行に追口を切りこむ。

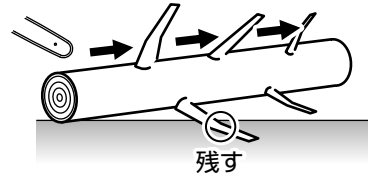
木が倒れ始めたら切り口よりチェーンソーを離し、その場にチェーンソーを置いて避難してください。

木が予定の伐倒方向に倒れそうにない場合や、ソーチェーン・ガイドバーが挟まれそうな時は作業を中断し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正するなどしてください。



■ 枝払い作業

- 1) 木の上部・側面の枝を、木の根元側から先端側に向かって一方向に切り落とす。
- 2) 木を支えている大きな枝を残し、地面側の枝を下側より切り落とす。



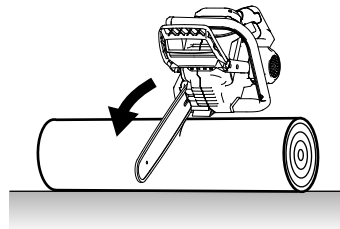
■ 造材作業（倒した木を切断する作業）

丸太が置かれている状態により切断方法が異なります。

A. 丸太全体が地面に接している場合

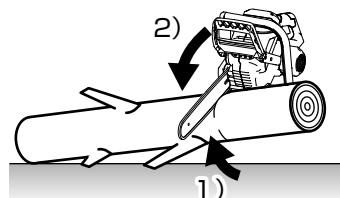
- 1) 丸太の上部から切り始め、そのまま真っすぐ切り下げる。

切り終わったときにソーチェーンが地面に触れないよう注意してください（キックバックの防止）。



B. 丸太の一部が支持されている場合

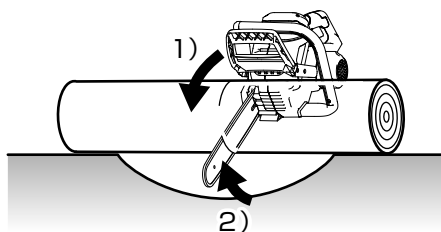
- 1) 丸太の下側から直径の約 1/3 まで切り込む。
- 2) 1) の切りこみと一致するよう位置を合わせ、上側から切り込む。



切断をする

C. 丸太の両端が支持されている場合

- 1) 丸太の上側から直径の約 1/3 まで切り込む。
- 2) 1) の切りこみと一致するよう位置を合わせ、下側から切り込む。



※ 斜面で丸太を切断する場合

- 1) 丸太が転がないよう、クサビや杭を使って丸太を固定する。
- 2) 山側（斜面上側）に立ち、A～Cのうち適した方法で作業する。



使用後は

使用後の手入れ

- 1) スイッチレバーから手を離し、本機からバッテリーを取り外す。

バッテリーを本機にさし込んだまま行くと、事故の原因になります。

- 2) 各部に付いた木くずやゴミを取り除き清掃する。

以下の場所は特に注意して清掃してください。本機 / バッテリーの故障を防ぎます。

- ・ソーチェーン / ガイドバー (16 ~ 18 ページ参照)
- ・スプロケットカバー内側 (29 ページ参照)
- ・バッテリー取付部内側の清掃 (29 ページ参照)

取り扱いのポイント

- ・清掃をするときは布などを使用する

水をかけると本機およびバッテリーが故障するおそれがあります。

- ・ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因になるため使用しないでください。

- 3) 作業後の点検を行う。(22 ページ「作業前 / 後の点検」参照)

- 4) バッテリーを取り付ける。

- 5) 無負荷運転し、ソーチェーンとガイドバーにチェーンソーオイルを行きわたらせる。

- 6) バッテリーを満充電にする。

バッテリーの劣化を防ぎます。

保管

- 1) 「使用後の手入れ」をすべて行う。

(前項「使用後の手入れ」参照)

- 2) スイッチレバーから手を離し、回転が止まったらキックバックブレーキをかける。

(19 ページ「ブレーキの作動」参照)

- 3) オイルタンク内のオイルを抜く。

- 4) スプロケットカバー部分の下にオイルを受けるものを敷く。

(21 ページ「運搬する場合には」参照)

- 5) ソーチェーン / ガイドバーにチェーンケースをかぶせる。

- 6) 本機、バッテリー、充電器ともに下記のような場所を避けて保管する。

バッテリーパックは本機から取り外して保管する。

- ・乳幼児、子供の手の届く所や簡単に持ち出せる所
- ・熱源のそばや、真夏の閉め切った自動車内など高温になる所
- ・湿気の多い所
- ・温度や湿度の急変する所
- ・直射日光の当たる所
- ・揮発性物質の置いてある所

⚠注意



本機を立てて保管しない
故障の原因になります。

長期保管のときは

バッテリー保護のため、バッテリーを満充電にしてから保管してください。また、その後も1年に1回は満充電にしてください。

保守・点検について

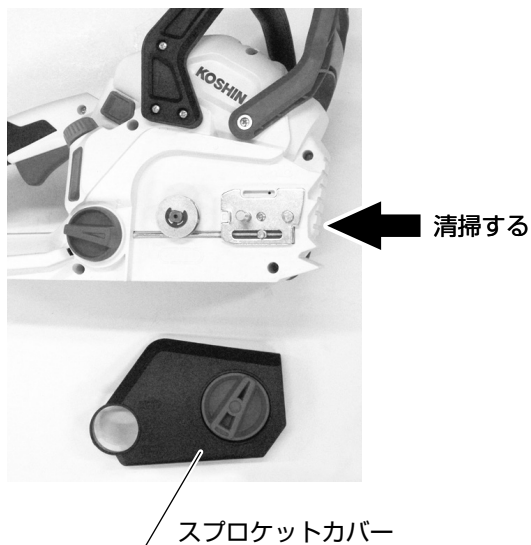
⚠ 警告

❗ 点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜く

バッテリーを本機にさし込んだまま行くと、事故の原因になります。

スプロケットカバー内側の清掃

- ・スプロケットカバー内側に、切りくずがたまります。負荷が高くなる原因になりますので、ブラシなどで切りくずを除去してください。



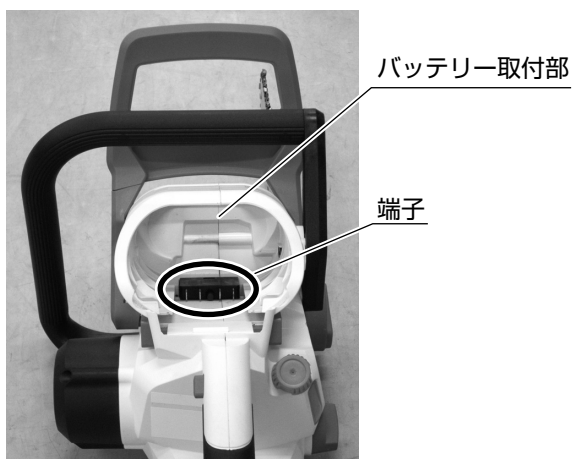
オイル吐出口の清掃

- ・ご使用中に細かなゴミが吐出口につまることがあります。
- ・ゴミが吐出口につまるとチェーンオイルの吐出量が少なくなりチェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなるおそれがあります。
- ・マイナスドライバーの先端などで吐出口のゴミを取り除いてください。



バッテリー取付部内側の清掃

- ・バッテリー取付部の内側に、切りくずがたまります。本機やバッテリーの故障の原因になりますので、端子を傷つけないよう注意して清掃を行ってください。



- ・ガイドバー先端からのチェーンオイルの吐出が少なくなった場合は下記手順で吐出口の清掃をしてください。

- 1) バッテリーを本機から抜く。
- 2) スプロケットカバー、ソーチェーン、ガイドバーを取り外す。(16～18ページ「ソーチェーン/ガイドバーの取り付け方・取り外し方」の項目参照)
- 3) バッテリーを本機にさし込む。
- 4) スwitchのレバーを握り、本機のオイル吐出口にたまっている細かなゴミをチェーンオイルで洗い流す。
- 5) バッテリーを本機から抜く。
- 6) スプロケットカバー、ソーチェーン、ガイドバーを本機に取り付ける。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

保守・点検について

ソーチェーンの目立て作業

木が切れにくくなってきたら目立て作業を行ってください。目立て作業を行う前に下記の注意事項をよく読んでください。

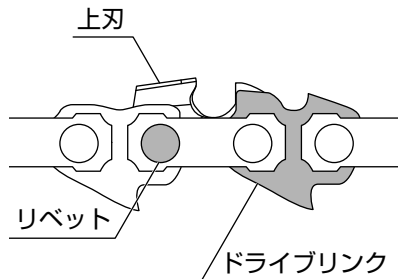
警告



ソーチェーンの点検を行う

ソーチェーンの状態が下記に該当する場合は、すぐに新しいソーチェーンに交換してください。

- ・上刃が破損しているとき。
- ・リベットが緩んだり、破損したりしているとき。
- ・ドライブリンクなどが曲がったり、破損したりしているとき。



必ずスイッチから手を離し、バッテリーを抜く

守らないと本機が誤始動し、ケガの原因になります。



必ず保護手袋を着用する



目立て作業は正しく行う

目立ての仕上がりは切れ味、性能に大きく影響します。正しく行わないと故障の原因になり、製品の寿命を縮める原因になります。

注意



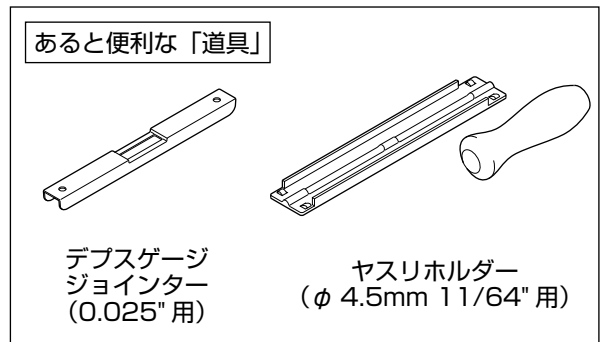
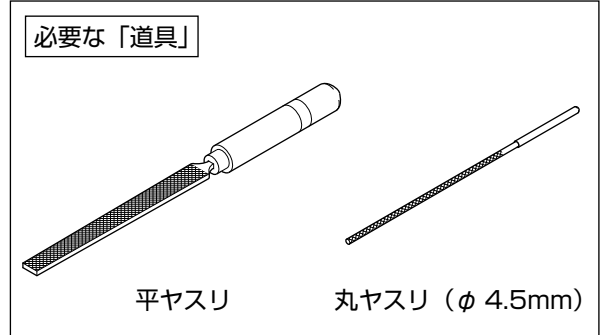
汚れても良い場所で作業するか、汚れても良い敷物を敷く



ソーチェーンの汚れをとる

1) 目立てに必要な「道具」を準備する

下記の「道具」は本製品には付属していません。市販品を別途ご用意ください。



2) 目立て作業の準備をする

1) バッテリーを取り外す。

(12 ページ「バッテリーの取り付け方 / 取り外し方」参照)

2) ソーチェーンの状態を確認する。

- ・ソーチェーンの張りは適切か
(17 ページ「ソーチェーンの張りの調整」参照)
- ・ソーチェーンは冷えているか
ソーチェーンが高温になっている場合は、しばらく待ち、冷えていることを確認してから作業を行ってください。

3) 本機を平らな場所に置く。

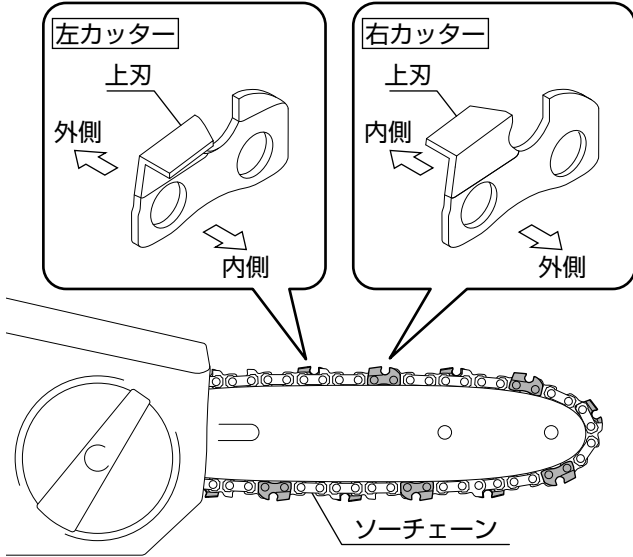
本機は平らな場所か、作業台など安定した場所を選び、作業を行ってください。

4) 本機を固定する。

保守・点検について

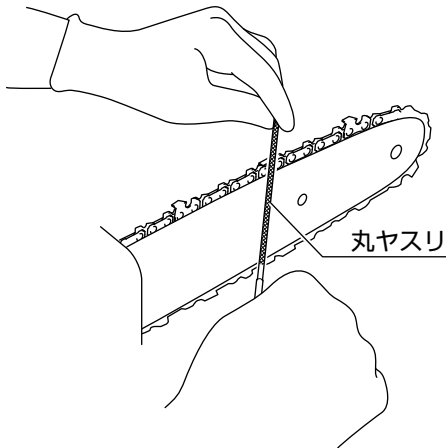
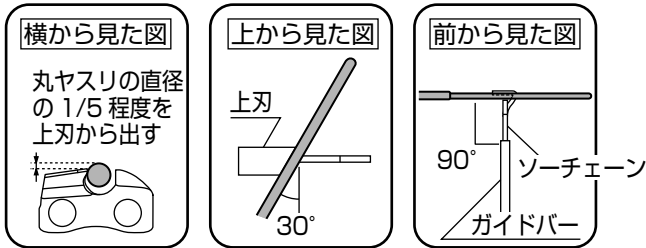
3) 上刃の目立てを行う

ソーチェーンには左カッターと右カッターが付いています。それぞれに上刃がありますのですべてのカッターの目立てを行います。



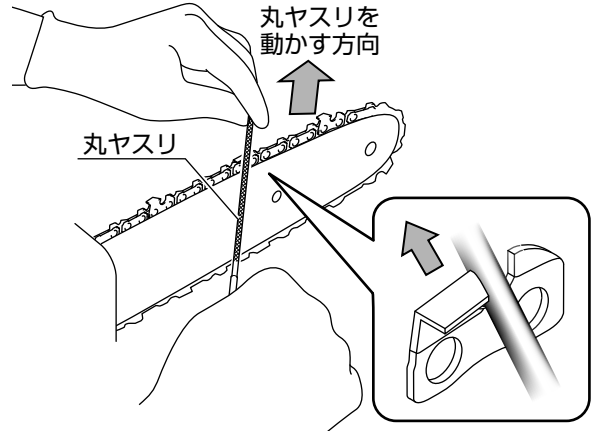
1) 左カッターに丸ヤスリを当てる。

丸ヤスリは下図の位置、角度になるように当ててください。



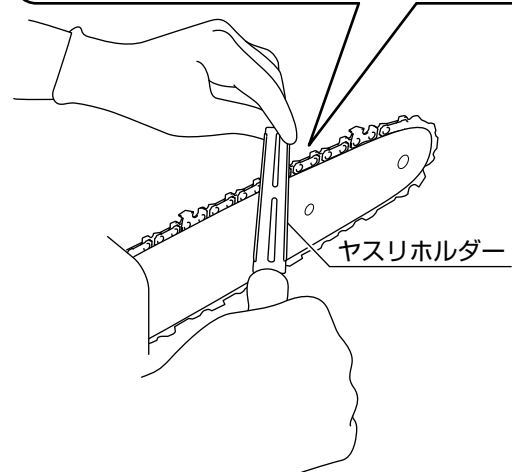
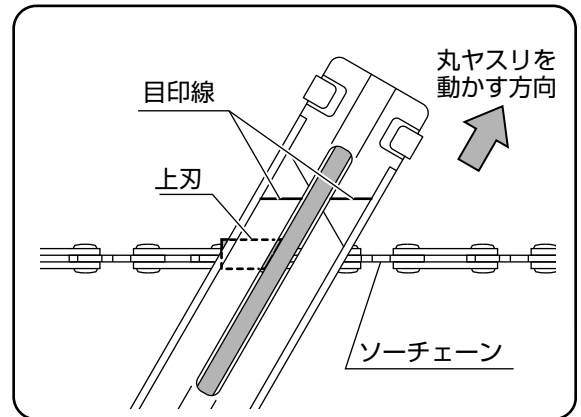
2) 左カッターの上刃の目立てを行う。

丸ヤスリは、刃の内側から外側へ押すときに力を加えて削ってください。戻すときは力を抜き、丸ヤスリが刃に当たらないように引いてください。各カッターに上記の工程を2~3回行ってください。



取り扱いのポイント

- ・ヤスリホルダーを使用する場合は、ヤスリホルダーの目印線とソーチェーンが平行になるよう使用してください。



はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

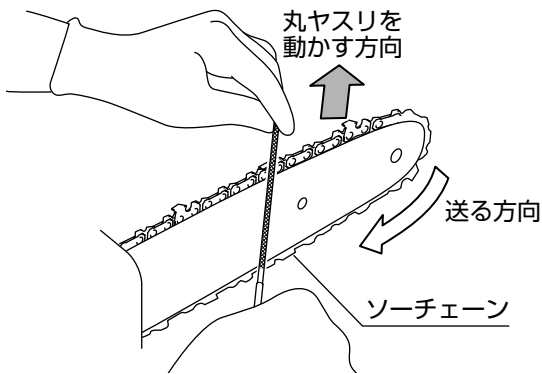
保守・点検について

3) 刃でケガをしないよう、ソーチェーンを手で慎重に送り、すべての左カッターの上刃の目立てを行う。

ソーチェーンの張りが強すぎると手で送れないので、ソーチェーンがガタつかない程度に張りを弱くするなど適宜調整を行ってください。

警告

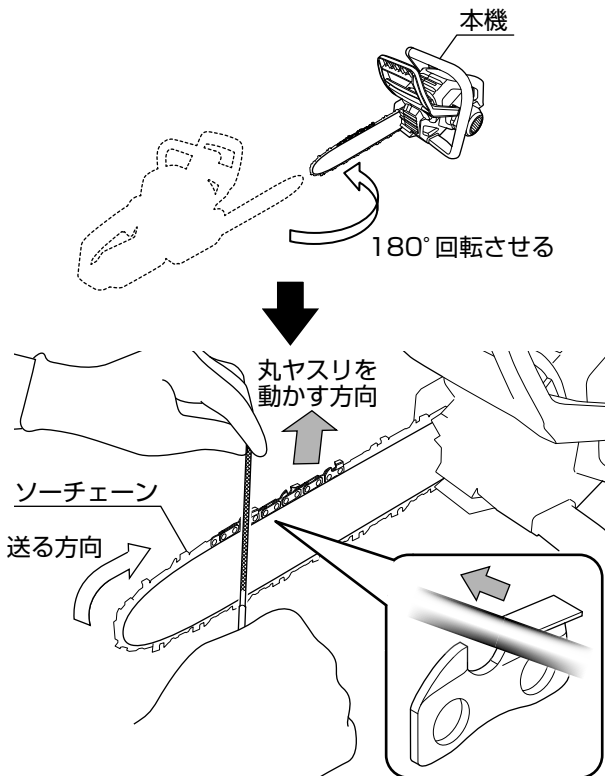
必ず保護手袋を着用する



4) 本機を 180° 回転させ、左カッターと同じ要領ですべての右カッターの上刃の目立てを行う。

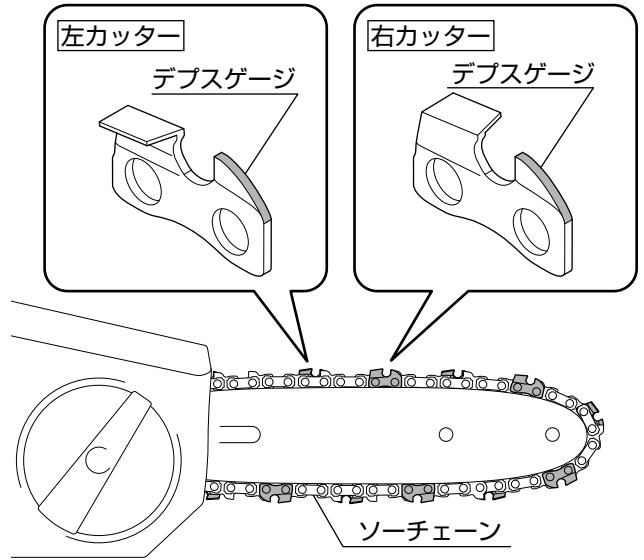
警告

必ず保護手袋を着用する



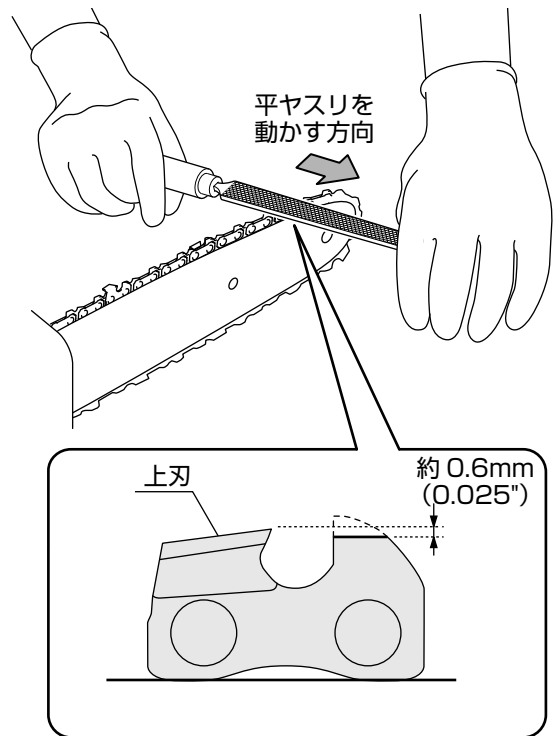
デプスゲージの調整

目立て作業により上刃の高さが低くなるため、デプスゲージを削り、調整をする必要があります。目立て作業3回につき1回を目安に、デプスゲージの調整を行ってください。



1) 平ヤスリでデプスゲージを削る。

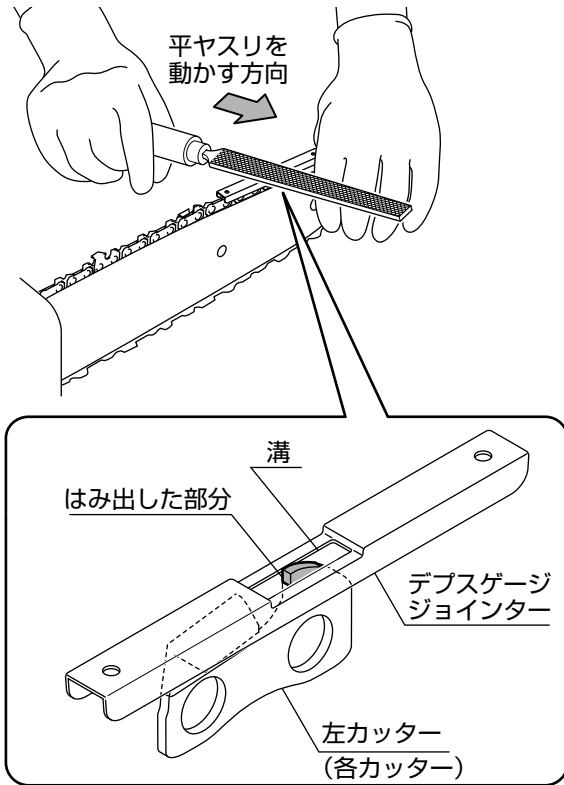
平ヤスリはガイドバーに対して 90° になるように使用してください。



保守・点検について

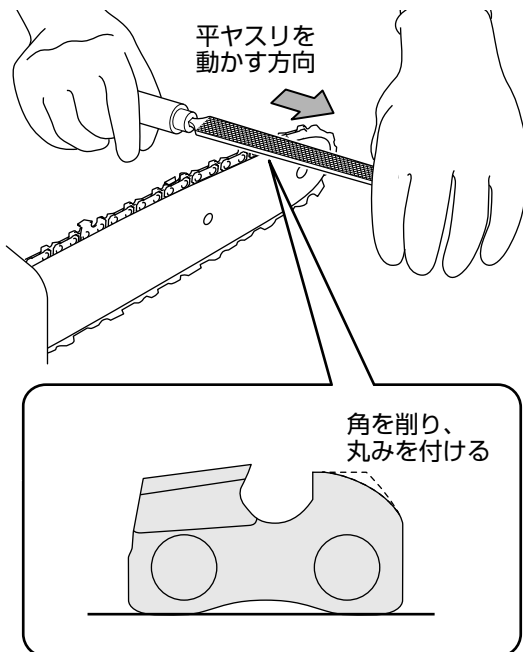
取り扱いのポイント

- ・デプスゲージジョインターを使用する場合は、デプスゲージジョインターを各カッターに当て、溝からはみ出した部分を平ヤスリで削ってください。



- 2) 平ヤスリでデプスゲージの角を削り、丸みを付ける。

平ヤスリはガイドバーに対して 90° になるように使用してください。



- 3) ソーチェーンを刃でケガをしないよう、ソーチェーンを手で慎重に送り、すべてのデプスゲージの調整を行う。

警告

! 必ず保護手袋を着用する

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

ご自分で分解・修理は絶対にしないでください。点検・修理は購入店または最寄りの弊社サービス工場にご依頼ください。

★：お問合せの多い項目

★各種ランプの見かた	充電器およびバッテリー	13～14ページ
------------	-------------	----------

トラブルの症状	考えられる原因	対策	参照ページ数
本機が動かない	バッテリー残量が少ない	充電を行う。	13
	バッテリーが接続されていない	バッテリーを接続あるいは奥までさし込む。	12
	★通常使用、または炎天下の自動車内に保管したなどしてバッテリーが高温になっている	バッテリーを風通しの良い日陰に置くなどして一旦冷ます（水にぬらさない）。	12
	★過負荷により本機が高温になっている	本機の動作を止めて過負荷の原因を取り除いた後、本機を一旦冷ます（水にぬらさない）。	—
	スイッチレバーがONになっていない	スイッチレバーを「カチッ」と音がするまで握る。	19
	スイッチレバーを握れない	ロック解除ボタンを押しながら握る。	
	★キックバックブレーキが作動している	キックバックブレーキを解除する	15
	充放電を繰り返す、バッテリーが劣化した	新しいバッテリーに交換する（バッテリーの寿命）。	
回転が止まる	部品（モーター、スイッチ等）が故障している	お客様では修理せずに、購入店へ修理、点検をご依頼ください。	—
	回転する部分に異物が挟まっている	異物が挟まっていないか点検・確認し、異物を取り除く。	16、29
切れ味が悪くなってきた	★キックバックブレーキが作動している	キックバックブレーキを解除する	19
	チェーンオイルが供給されない	オイル吐出口を清掃し給油する。	20、29
切れ味が悪くなってきた	ソーチェーンが破損している	ソーチェーンを交換する	16
	刃が摩耗した	ソーチェーンの交換をするか目立て作業を行う	16、30

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

ご自分で分解・修理は絶対にしないでください。点検・修理は購入店または最寄りの弊社サービス工場にご依頼ください。

★：お問合せの多い項目

トラブルの症状	考えられる原因	対策	参照ページ数
本機から異音／異常振動がしている	回転する部分に異物が挟まっている	異物が挟まっていないか点検・確認し、異物を取り除く。	16、29
	ソーチェーン／ガイドバーが正しく取り付けられていない	正しく取り付ける。	16～18
	ガイドバー固定ノブがゆるんでいる	増し締めする。	
	ソーチェーン／ガイドバー本体に穴が現れた、または、変形・破損している	ソーチェーン／ガイドバー本体を新品に交換する（ソーチェーン／ガイドバーの寿命）。	
	締付け部のゆるみ	増し締めする。	—
	モーターが焼けている	お客様では修理せずに、購入店へ修理、点検をご依頼ください。	—
満充電してもバッテリー残量がいつもより早くなくなる	想定を上回る硬さの切断対象、または長時間使用している	本機の能力に見合った対象・時間で使用する。	36
	気温が低く、バッテリーの温度が低すぎる	バッテリーを使用環境温度が5～40℃の室内にしばらく放置する。	12
	充放電を繰り返す、バッテリーが劣化した	新しいバッテリーに交換する（バッテリーの寿命）。	15
充電に時間がかかる	バッテリーの温度が低い	バッテリー温度が低いと充電しにくいことがあるため、充電は使用環境温度が5～40℃の範囲で行う。	12
	バッテリー残量がとても少ない	そのまま充電を続ける。	—
充電ができない： 充電器およびバッテリーのランプが、赤点減する	★通常使用、または炎天下の自動車内に保管したなどしてバッテリーが高温になっている	バッテリーを風通しが良い日陰に置くなどして一旦冷ます（水にぬらさない）。	12、13
充電ができない： 充電器のランプが消灯のまま	充電器の電源プラグが奥までしっかりさし込まれていない	奥までしっかりさし込む。	
		外部からの衝撃や、強く引っ張るなどしたため充電器のケーブル・電線が切れた バッテリーまたは充電器が破損している ※	お客様では修理せずに、購入店へ修理、点検をご依頼ください。

※ 破損の原因になる例

炎天下の自動車内など、著しい高温または低温にさらした / 金属などが端子にふれた / 水または火、揮発性の物質などにふれた / 落下による衝撃 / 液もれなど。

仕様

名称	充電式チェーンソー	
機種	SCS-3625	
用途	丸太（薪）切り、木製角材の切断	
モーター	ブラシレスモーター	
電圧	DC 36V	
ガイドバー ※1	形式	124MLEA041
	長さ	300mm
ソーチェーン ※1	形式	90PX-45E
	ピッチ	3/8"
	ゲージ	0.043"
	ドライブリンク数	45 コマ
チェーンソーオイル	使用オイル	市販のチェーンソーオイル
	タンク容量	110mL
	給油方式	自動
チェーンスピード	8m/s	
作業量（松材 40 × 50mm）※2	約 300 本	
運転時間（満充電・無負荷）※2	約 40 分	
本体サイズ 長さ×幅×高さ（mm）	662 × 235 × 274	
製品重量 ※3	4.5kg	
バッテリー	種類	リチウムイオンバッテリー
	機種	PA-334
	名称	36V バッテリー（2.5Ah）
急速充電器	機種	PA-335
	入力電圧 ※4	AC 100V
	入力周波数	50-60Hz
	入力容量	105W
	出力電圧	DC 40V
	出力電流	DC 2A
	充電時間 ※5	約 90 分
	使用環境温度	5°C～40°C

※1 交換の際は、必ず指定のものをご使用ください（3 ページ「パーツのご注文は」参照）

※2 1 充電あたり。実使用では木の種類や刃物の状態によって異なります。

※3 バッテリーなど付属品を含む。

※4 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機では使用したりしないでください。
発熱・火災のおそれがあります。

※5 気温やバッテリーの充電残量などにより異なります。特に長期保管後は長くなることがあります。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他



はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

保証書

持込修理

レシートまたは
販売証明書と共に
保管してください

機種	充電式チェンソー SCS-3625	*お買い上げ日		年 月 日
保証期間	お買い上げより 1 年間		* 〒	
お客様	*お名前	〒	* 購入店	住所
	*ご住所			氏名
	電話 ()			電話 ()

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、
下記記載内容で無料修理をお約束するものです。
保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合は、
購入店にお問い合わせください。

株式会社 **工進**

京都府長岡京市神足上八ノ坪 12

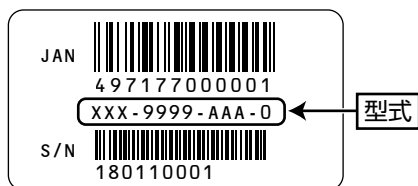
保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無料修理いたします。お買い上げ日から保証期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき購入店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - 〈イ〉 使用上の誤り、改造、不当な修理、工進指定の純正パーツ以外を使用したことによる故障または損傷。
 - 〈ロ〉 お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
 - 〈ハ〉 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障または損傷。
 - 〈ニ〉 家庭園芸用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障または損傷。
 - 〈ホ〉 本書のご提示がない場合。
 - 〈ヘ〉 本書にお買い上げ年月日、お客様名、購入店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 〈ト〉 付属品、消耗品は有料修理となります。（バッテリー、ソーチェーン、ガイドバーなど）
 - 〈チ〉 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障または損傷。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この商品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしません。
- 本書は日本国内についてのみ有効です。
- 保証期間経過後の修理などは、購入店にご相談ください。
- 本機が使用できなかったことによる不便さおよび損失など（電話代、レンタカー代、宿泊代、交通費、休業補償、営業損失など）は補償いたしかねます。

お問い合わせは…

お問い合わせの際は、
型式*、お買い上げ年月日、
故障状況などをお知らせください。

※ **型式** について
本体または梱包箱への貼付ラベルに記載しています。



- 製品の修理（見積もり含む）、
製品・パーツの販売についてのお問い合わせは
購入店またはお近くの弊社製品お取扱店にご相談ください。

- 製品の取扱方法についてのお問い合わせは

Eメール pump@koshin-ltd.co.jp



Eメール用
二次元コード

電話

0120-075-540

平日：9～12時、13～17時
土曜：9～12時

※年末年始・夏期休暇等・祝日を除く
※受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。

株式会社 **工進**

〒617-8511 京都府長岡京市神足上八ノ坪12
http://www.koshin-ltd.co.jp